資料１

新しい杉並第一小学校の概要

＜基本プラン＞

配置計画
・校庭面積の確保、校庭及び近隣の日照確保、水害リスクの最少化などの利点から、南西側を校舎、北東側を校庭とする配置とします。
・敷地の角に屋根付きの半屋外スペースとして「まちかど広場」を設け、昇降口や正門前の滞留スペース、雨や直射日光を避けれられる屋外活動スペースとして活用できる計画とします。

校舎の階構成
・職員室などの管理諸室は１階、普通教室と特別教室は２～４階とします。
・校庭面積確保のため、体育館は２階、プールは５階とします。

普通教室
・２～４階の校庭側を普通教室エリアとします。
・普通教室は各階に５学級ずつ、全部で15学級分を設けます。
・少人数教室は普通教室に近接した位置に各階１室ずつ、全部で３室設けます。

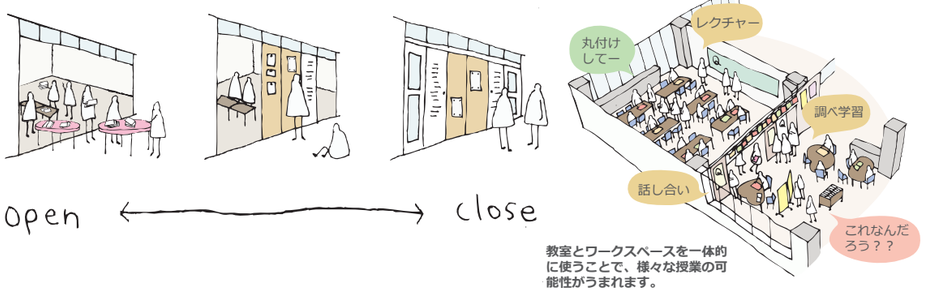
特別教室
・２～４階の道路側を特別教室エリアとします。
・多目的室の１室を昇降口脇に配置し、課外活動や地域イベントなどにも活用しやすい計画とします。
・音楽室は楽器の運搬に配慮し、体育館と同じ２階に配置します。

管理諸室
・職員室は１階の校庭や昇降口の様子が確認しやすい位置とします。
・事務室、用務主事室は来客対応が行やすい昇降口前とします。

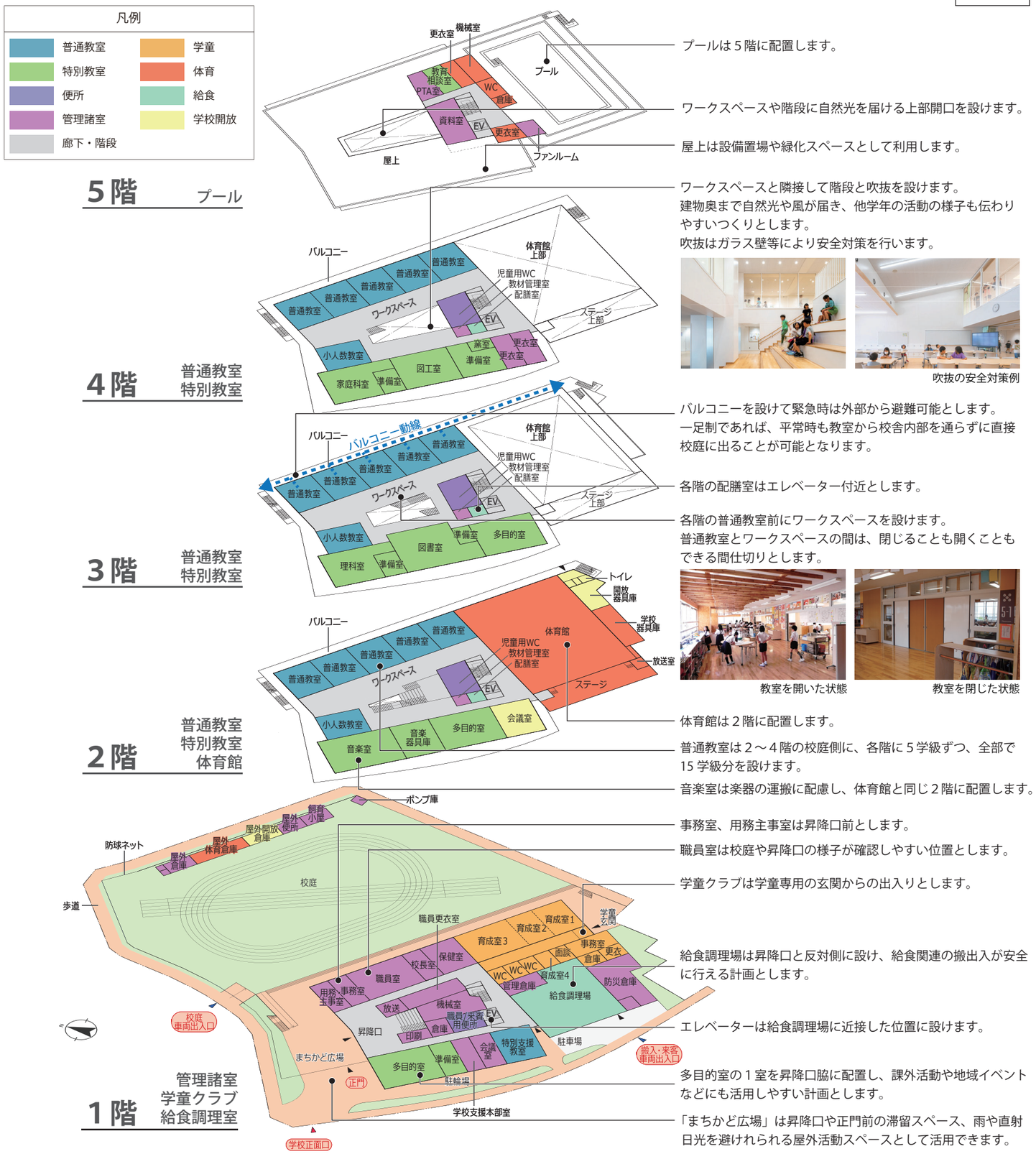
給食調理室
・給食調理室は昇降口と反対側とし、給食関連の搬出入が安全に行える計画とします。
・給食調理場前にエレベーターを設け、各階の配膳室もエレベーター付近とすることで、給食配膳が行いやすい計画とします。

校庭
・校庭は100mトラックと50mトラックを確保した上で、周囲に屋外倉庫や緑地を設けます。
・校庭の舗装は砂塵対策のため人工芝とすることも検討しています。人工芝化により靴に付着する砂が減少するため、併せて一足制を導入して昇降口での靴の履き替えを不要とすることも可能となります。

ワークスペース
・普通教室前にワークスペースを設け、多様な学びのスタイルに適応できる計画とします。
・普通教室とワークスペースの間は、閉じることも開くこともできる間仕切りとし、授業内容に応じて様々な使い方ができるようにします。



教室とワークスペースを一体的に使うことで、様々な授業の可能性がうまれます。



バルコニーは外部から避難可能とします。

プールは５階に配置します。

ワークスペースや階段に自然光を届ける上部開口を設けます。

屋上は設備置場や緑化スペースとして利用します。

ワークスペースと隣接して階段と吹抜を設けます。
建物奥まで自然光や風が届き、他学年の活動の様子も伝わりやすいつくりとします。
吹抜はガラス壁等により安全対策を行います。

吹抜の安全対策例

バルコニーを設けて緊急時は外部から避難可能とします。
一足制であれば、平常時も教室から校舎内部を通らずに直接校庭に出ることが可能となります。

各階の配膳室はエレベーター付近とします。

各階の普通教室前にワークスペースを設けます。
普通教室とワークスペースの間は、閉じることも開くこともできる間仕切りとします。

教室を開いた状態

教室を閉じた状態

体育館は２階に配置します。

普通教室は２～４階の校庭側に、各階に５学級ずつ、全部で15学級分を設けます。

音楽室は楽器の運搬に配慮し、体育館と同じ２階に配置します。

事務室、用務主事室は昇降口前とします。

職員室は校庭や昇降口の様子が確認しやすい位置とします。

学童クラブは学童専用の玄関からの出入りとします。

給食調理場は昇降口と反対側に設け、給食関連の搬出入が安全に行える計画とします。

エレベーターは給食調理場に近接した位置に設けます。

多目的室の１室を昇降口脇に配置し、課外活動や地域イベントなどにも活用しやすい計画とします。

「まちかど広場」は昇降口や正門前の滞留スペース、雨や直射日光を避けれられる屋外活動スペースとして活用できます。

※本資料は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

＜低学年１Fプラン①＞

概要

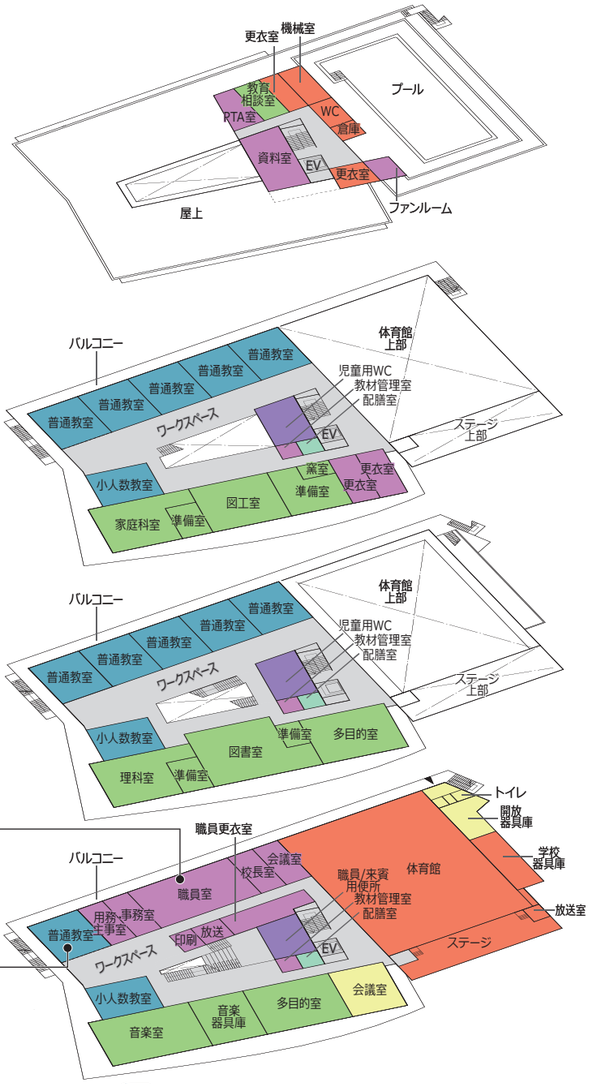
・低学年教室を校庭に近い位置とするため、１階に普通教室を配置し、２階に職員室等を配置した案です。

メリット

・普通教室４室が１階の校庭に面した位置となり、児童が校庭に出やすくなります。

デメリット

・昇降口の近くに普通教室が配置されるため、セキュリティの確保に課題があります。
・職員室、事務室、用務主事室が昇降口とは別フロアになります。
・普通教室の１室は昇降口に面するため、ワークスペースを設けられなくなります。
・普通教室が各階に分かれるため、学級数によっては同学年の教室が階を跨ぐなど、教室の割り振りに制約が生じます。

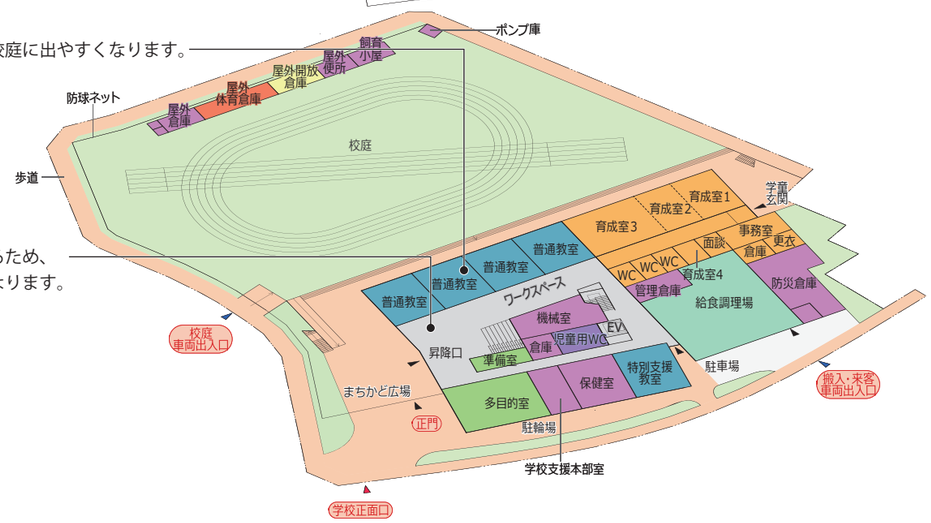


職員室、事務室、校長室、職員更衣室等の管理諸室を２階に配置します。

普通教室が各階に分かれ、教室の割り振りに制約が生じます。

普通教室が１階となり、児童が校庭に出やすくなります。

普通教室の１室は昇降口に面するため、ワークスペースを設けられなくなります。



＜低学年１Fプラン②＞

概要

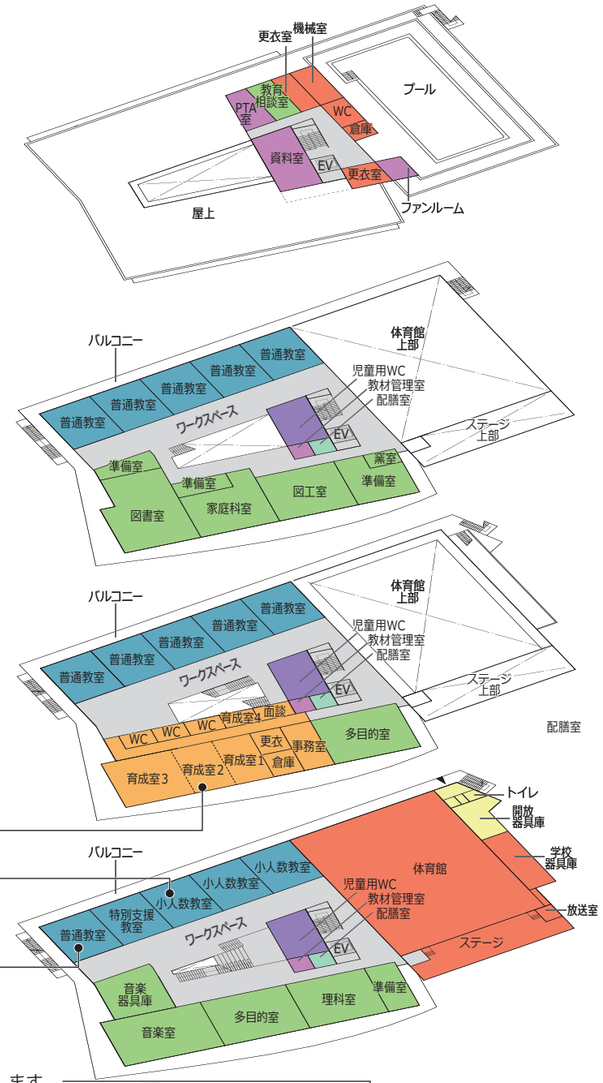
・低学年教室１階案①で職員室等が２階となる点を改善するため、学童クラブを３階とし、学童クラブがあった場所に職員室等を配置した案です。

メリット

・普通教室４室が１階の校庭に面した位置となり、児童が校庭に出やすくなります。
・職員室等が1階となります。

デメリット

・昇降口の近くに普通教室が配置されるため、セキュリティの確保に課題があります。
・職員室、事務室、用務主事室が昇降口から離れた位置となります。
・１階の普通教室前にはワークスペースを設けられなくなります。
・普通教室が各階に分かれるため、学級数によっては同学年の教室が階を跨ぐなど、教室の割り振りに制約が生じます。
・学童クラブは校舎内を経由したアクセスとなります。



学童クラブは３階となり、校舎内を経由したアクセスとなります。

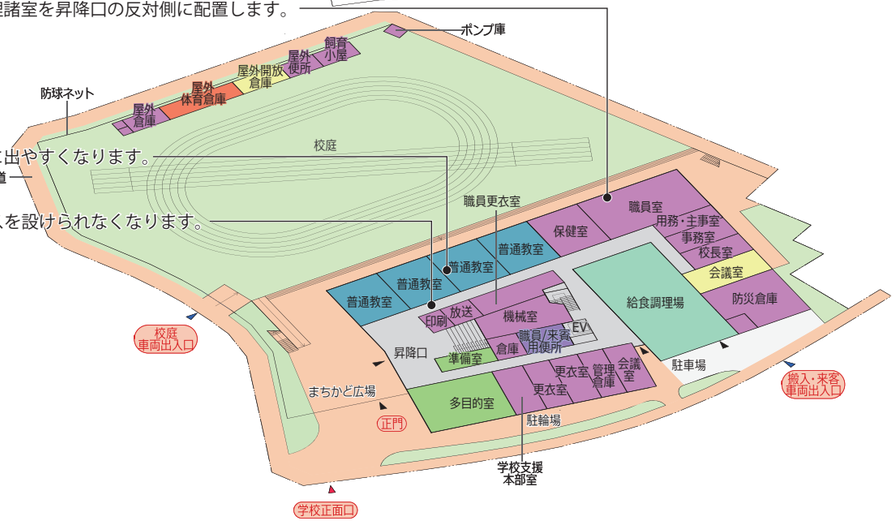
少人数教室は２階にまとめて配置します。

普通教室が各階に分かれ、教室の割り振りに制約が生じます。

職員室、事務室、用務主事室等の管理諸室を昇降口の反対側に配置します。

普通教室が１階となり、児童が校庭に出やすくなります。

１階の普通教室前にはワークスペースを設けられなくなります。



※本資料は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

ワークスペースの使い方例

テーブルでグループワーク

床での作業

作品や教材の展示

ベンチ＋グループテーブル＋カウンターテーブルで個別学習

ワークスペースを発表スペースとして利用

数人で集まれるコーナー（DEN）

※本資料は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

セキュリティゾーニング図

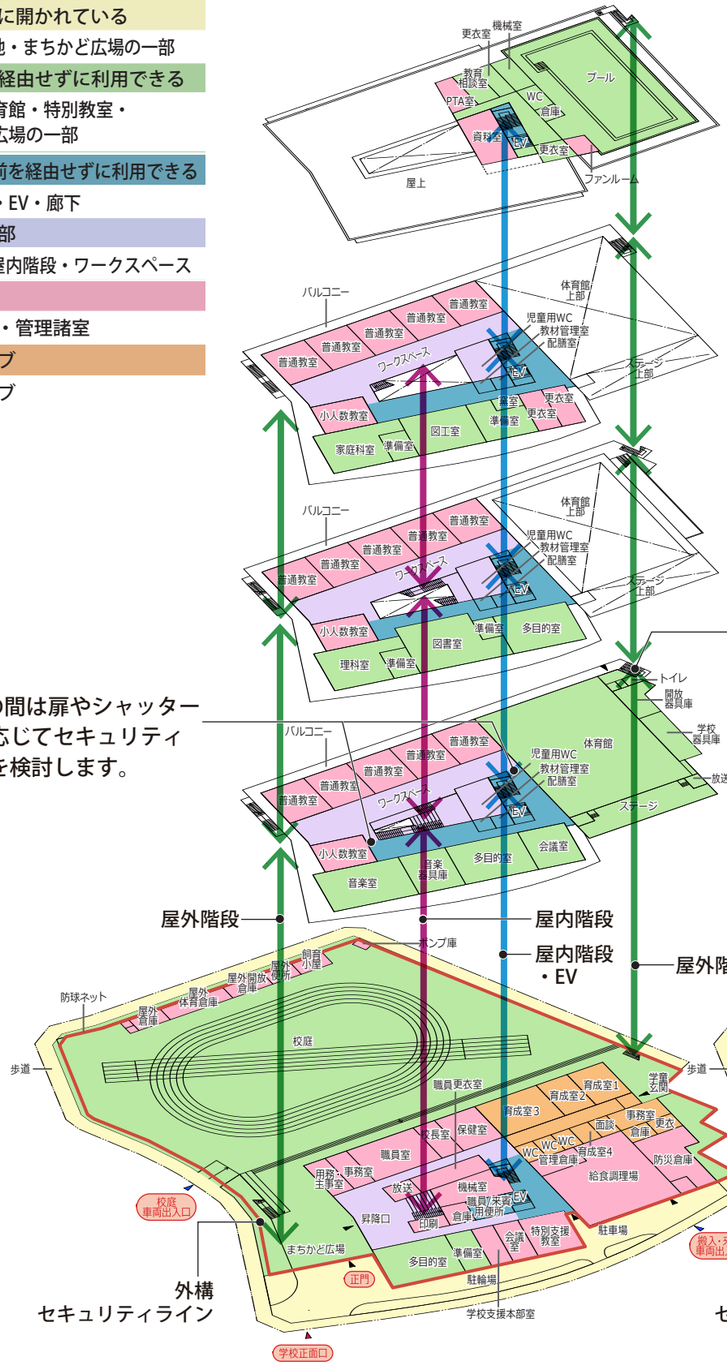
＜基本プラン＞

凡例

低 セキュリティ 高

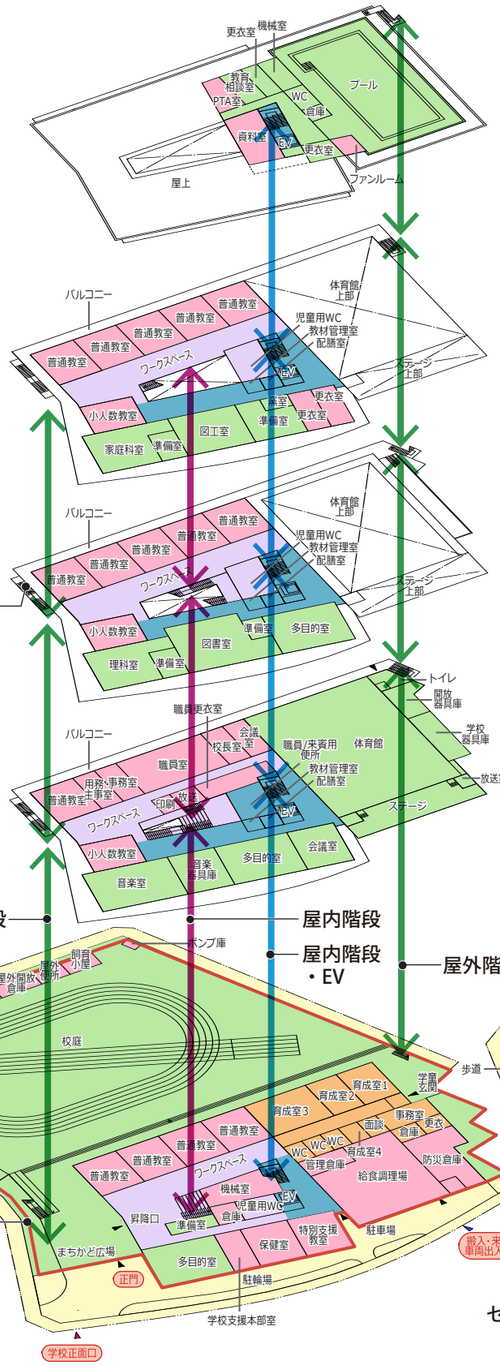
Zone1	常時地域に開かれている 歩道上空地・まちかど広場の一部
Zone2	校舎内を経由せずに利用できる 校庭・体育館・特別教室・ まちかど広場の一部
Zone3	普通教室前を経由せずに利用できる 屋内階段・EV・廊下
Zone4	学校共用部 昇降口・屋内階段・ワークスペース
Zone5-1	学校諸室 普通教室・管理諸室
Zone5-2	学童クラブ 学童クラブ

Zone3とZone4の間は扉やシャッターにより、必要に応じてセキュリティ区画できる計画を検討します。

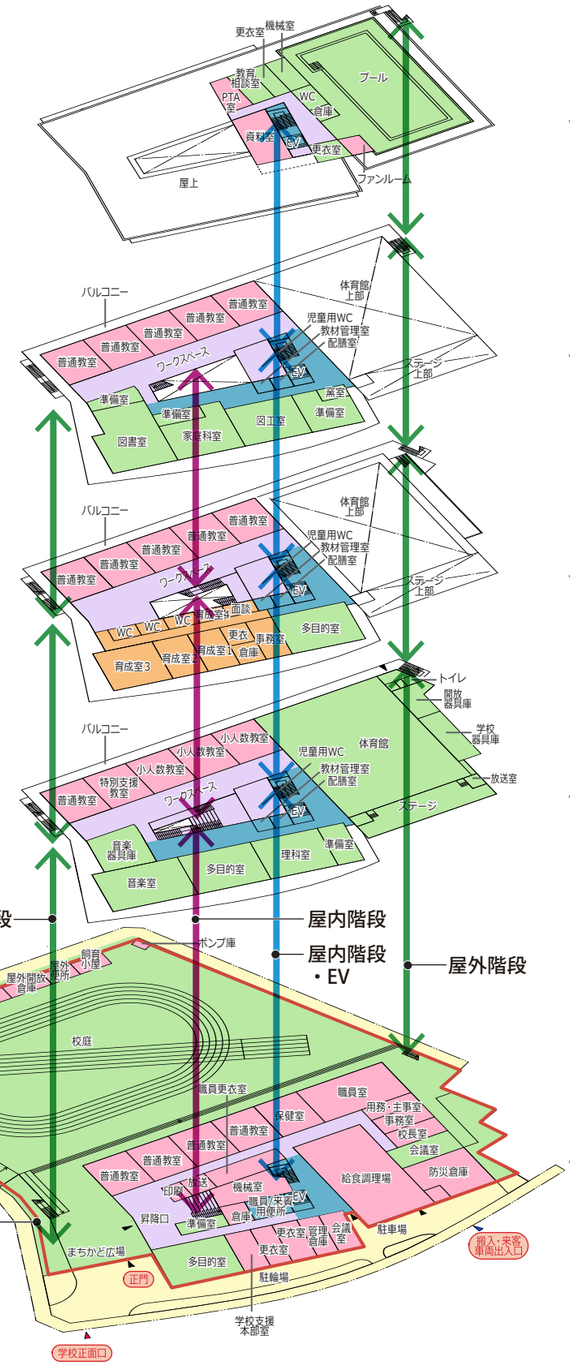


Zone2へ行くときには、外階段を使用することを想定しています。

＜低学年１Fプラン①＞



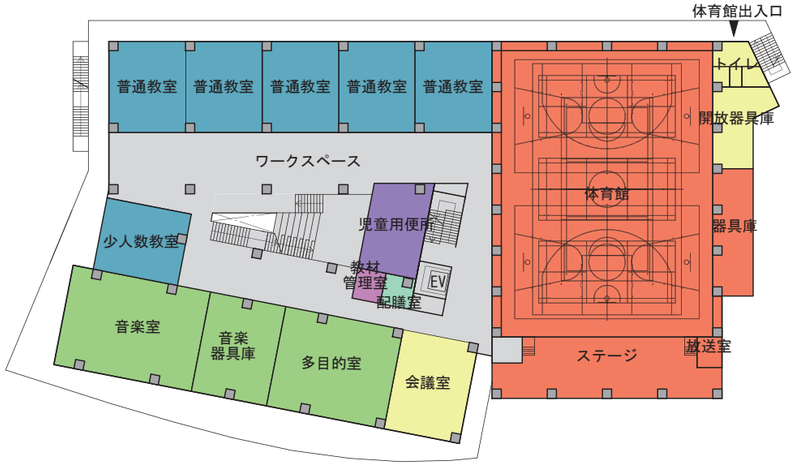
＜低学年１Fプラン②＞



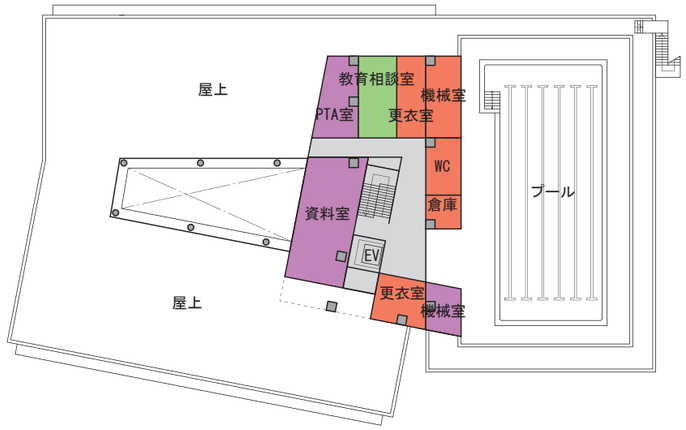
5F
4F
3F
2F
1F

※本図面は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

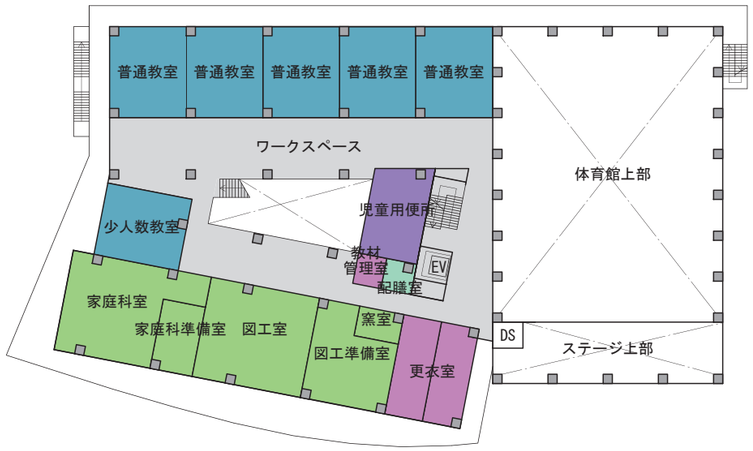
平面図（基本案）



2階平面図



5階平面図



4階平面図

3階平面図

配置図　兼　1階平面図

縮尺 1 /600

凡例

- 普通教室
- 特別教室
- 便所
- 管理諸室
- 学童
- 体育
- 給食
- 学校開放
- 廊下・階段

※本資料は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。